刈谷市こども計画進捗管理シート

「第5章　量の見込みと確保の内容」

資料2

（1）教育・保育の量の見込みと確保の内容

番号	①	事業名	1号認定（教育標準時間認定）
計画書ページ	79	担当課	子ども課

1．計画内容

事業内容	【対　象】 満3歳以上で、幼稚園等の教育を希望される方 【利用先】 幼児園、幼稚園
提供体制の考え方	必要な量を満たしており、現在の体制で計画期間中も確保できる見込みです。

2．進捗状況（計画・実績値）

単位：人

就園児童数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	1,285	1,168	△ 117
B　確保の内容	2,760	2,530	△ 230
幼児園	2,460	2,250	△ 210
幼稚園（私立）	300	280	△ 20
B－A	1,475	1,362	

3．事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	幼児園において1号認定の児童888人を受け入れました。 また、1号認定に相当する児童280人が私立幼稚園を利用しました。
今後の展望	必要量を満たしており、現在の体制で計画期間中も確保できる見込みです。

番号	②	事業名	2号認定（保育認定）
計画書ページ	80	担当課	子ども課

1．計画内容

事業内容	【対　象】 満3歳以上で、保育の必要な事由に該当し、保育所等での保育を希望される方 【利用先】 認可保育所、幼児園、幼稚園、認可外保育
提供体制の考え方	民間園の新規誘致を図る一方で、3号認定の保育需要に対応するべく、既存の公立保育園を乳児園化するため、最終的には微減となります。しかし、現在の体制で計画期間中も十分な確保ができる見込みです。

2．進捗状況（計画・実績値）

単位：人

就園児童数		令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み		2,397	2,536	139
B　確保の内容		2,816	2,929	113
認可保育所		1,315	1,275	△ 40
認定こども園（公立）		1,090	1,090	0
幼稚園（私立）		60	109	49
地域型	居宅訪問型保育	0	0	0
認可外	事業所内保育	351	455	104
B－A		419	393	

3．事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	幼児園において乳児園からの進級児を含めた2号認定の児童の受入れを円滑に実施しました。
今後の展望	令和8年度から公立保育園2園の乳児園への移行を進めますが、必要量を満たしており、現在の体制で計画期間中も確保できる見込みです。

番号	③	事業名	3号認定（保育認定）
計画書ページ	81	担当課	子ども課

1．計画内容

事業内容	【対　象】 満3歳未満で、保育の必要な事由に該当し、保育所等での保育を希望される方 【利用先】 認可保育所、認可外保育
提供体制の考え方	2号認定の確保体制が十分に整っていることから、既存の公立保育園をさらに乳児園化することや民間園の新規誘致を図ることにより、増大する3号認定の保育需要に対応します。また、認可外保育施設への支援を拡充し、新規建設や既存の受入れ枠拡大を促します。

2．進捗状況（計画・実績値）

■0歳

単位：人

就園児童数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	397	620	223
B　確保の内容	201	213	12
認可保育所	167	156	△ 11
地域型保育	0	0	0
認可外保育	34	57	23
B－A	△ 196	△ 407	

■1歳

単位：人

就園児童数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	707	627	△ 80
B　確保の内容	615	639	24
認可保育所	509	460	△ 49
地域型保育	0	0	0
認可外保育	106	179	73
B－A	△ 92	12	

■2歳

単位：人

就園児童数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b-a
A　量の見込み	707	616	△ 91
B　確保の内容	749	756	7
認可保育所	605	547	△ 58
地域型保育	0	0	0
認可外保育	144	209	65
B－A	42	140	

3. 事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	令和8年4月開設の私立乳児園1園の準備を行いました。
今後の展望	公立保育園2園の乳児園化及び新規園誘致により、増大する0～2歳児クラスの保育需要に対応していきます。

（2）地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保の内容

番号	①	事業名	延長保育事業
計画書ページ	82	担当課	子ども課

1．計画内容

事業内容	保育認定を受けた子どもについて、11 時間を超えて保育園において保育を実施する事業
提供体制の考え方	現在の提供体制で計画期間中も確保できる見込みです。

2．進捗状況（計画・実績値）

単位：人

利用者数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	500	322	△ 178
B　確保の内容	500	322	△ 178
B－A	0	0	

3．事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	公立保育園ではおがきえ保育園、あおば保育園が午後8時まで、民間保育所ではこぐま保育園、第二こぐま保育園、刈谷ゆめの樹保育園、空のうさぎ保育園、刈谷大和保育園、城のうさぎ保育園、ことり保育園、ALL4KIDSナーサリースクール刈谷、かりやYMCA保育園が午後7時半まで延長保育を実施し、保護者の就労形態の多様化に対応しました。
今後の展望	必要量を満たしており、今後も保護者の就労形態の多様化に対応します。

番号	②	事業名	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）
計画書ページ	82	担当課	子育て推進課

1．計画内容

事業内容	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、放課後に小学校の余裕教室等を利用して、主体的な遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業
提供体制の考え方	現在の提供体制で計画期間中も確保できる見込みです。

2．進捗状況（計画・実績値）

単位：人

利用者数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	1,156	1,280	124
低学年	957	1,019	62
1年生	399	420	21
2年生	325	347	22
3年生	233	252	19
高学年	199	261	62
4年生	122	160	38
5年生	54	61	7
6年生	23	40	17
B　確保の内容	1,156	1,280	124
B－A	0	0	

３．事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	利用者数が計画を上回りましたが、小学校の空き教室の活用やタイムシェアにより、市内15か所すべての放課後児童クラブで長期休業期間を含めた全期間において、待機児童を発生させることなく事業を実施しました。
今後の展望	引き続き待機児童を発生させないため、小学校の空き教室やその他の公共施設等を活用し放課後児童の受け皿確保に取り組みます。

番号	③	事業名	子育て短期支援事業（ショートステイ）
計画書ページ	83	担当課	子育て推進課

1. 計画内容

事業内容	保護者の疾病等の理由により、家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設への入所等により、一定期間養育を行う事業
提供体制の考え方	県内の12施設と契約して実施しており、現在の提供体制で計画期間中も確保できる見込みです。 今後も近隣市の施設と連携を図り、保護者の利用希望に対応していきます。

2. 進捗状況（計画・実績値）

単位：日

年間延べ利用日数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	50	7	△ 43
B　確保の内容	50	50	0
B－A	0	43	

3. 事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	2歳以上を養育している母親の育児疲れを理由とするレスパイト目的で、2世帯（各1名）の利用がありました。児童養護施設の入所により、延べ7日間の支援を行いました。
今後の展望	今後も保護者が一時的に養育が困難となった際に早急な対応ができるよう、受け入れ体制を整えてまいります。

番号	④	事業名	地域子育て支援拠点事業
計画書ページ	83	担当課	子育て支援課

1. 計画内容

事業内容	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業
提供体制の考え方	子育て支援センター5か所、子育て広場4か所で実施しており、現在の提供体制で計画期間中も確保できる見込みです。

2. 進捗状況（計画・実績値）

単位：人

年間延べ利用者数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	150,000	132,550	△ 17,450
B　確保の内容	207,700	203,000	△ 4,700
B－A	57,700	70,450	

3. 事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行いました。
今後の展望	現状、必要量を満たしており、現在の体制で計画期間中も確保できる見込みですが、施設の老朽化や各地域のニーズを踏まえ、今後の在り方を検討していきます。

番号	⑤	事業名	一時預かり事業
計画書ページ	84	担当課	子育て支援課、子ども課

1. 計画内容

事業内容	家庭において一時的に育児を受けることが困難となった乳幼児について、主として昼間において、幼児園、保育園、その他の場所において、一時的に預かり、必要な保育を行う事業
提供体制の考え方	すべての幼児園において在園児を対象とした預かり保育を実施しており、現在の提供体制で計画期間中も確保できる見込みです。 保育園における一時保育等についても、現在の提供体制で計画期間中も確保できる見込みです。

2. 進捗状況（計画・実績値）

■幼児園の預かり保育

単位：人

年間延べ利用者数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	36,700	26,704	△ 9,996
B　確保の内容	36,700	26,704	△ 9,996
B－A	0	0	

■その他の一時預かり

単位：人

年間延べ利用者数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	13,200	10,681	△ 2,519
B　確保の内容	13,200	10,681	△ 2,519
保育園の一時保育	12,190	9,867	△ 2,323
ﾌｧﾐﾘｰ・ｻﾎﾟｰﾄ・ｾﾝﾀｰ（病児・病後児を除く）	1,010	814	△ 196
B－A	0	0	

※ファミリー・サポート・センターは未就学児のみの利用分の量の見込みです。就学児の利用分の見込みは「⑦ファミリー・サポート・センター事業（就学児のみ）」になります。

３．事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	【子育て支援課】 ファミリー・サポート・センターにおいて、保護者の外出や保育園の休みなどの理由で、814人の一時預かりを実施し、子育て家庭への支援の充実を図りました。 【子ども課】 公立幼児園15園において、通常の保育時間終了後と長期休業中に、就労、保護者の通院、下の子の健診などの理由で、在園児に対して預かり保育を実施し、26,704人が利用しました。 公立保育園2園、私立保育園7園において、9,867人の一時預かりを実施し、子育て家庭への支援の充実を図りました。
今後の展望	【子育て支援課】 ファミリー・サポート・センターにおいて、必要量を満たしており、現在の体制で計画期間中も確保できる見込みですが、多様化する保護者のニーズに対応するため、援助会員の確保により一層努めていきます。 【子ども課】 公立幼児園において、通常の保育時間終了後と長期休業中に、保育を希望する在園児に対して、預かり保育を実施します。 現在一時預かりを実施している9園に加え、新たに私立保育園1園が実施予定であり、今後も子育て家庭を支援していきます。

番号	⑥	事業名	病児・病後児保育事業
計画書ページ	85	担当課	子育て支援課

1. 計画内容

事業内容	病児・病後児について、保育園に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育を行う事業
提供体制の考え方	公立1か所、私立2か所で実施しており、現在の提供体制で計画期間中も確保できる見込みです。

2. 進捗状況（計画・実績値）

単位：人

年間延べ利用者数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	320	344	24
B　確保の内容	2,848	2,805	△ 43
B－A	2,528	2,461	

3. 事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	家庭での保育が困難な病気または病気回復期の子どもに対して、市内3か所で一時的な保育を随時実施しました。 かりがね病児ケアルーム利用者数：218人 親愛の里保育園利用者数：76人 依佐美おひさまケアルーム利用者数：50人 登録者数　791人（令和8年3月31日時点）
今後の展望	必要量を満たしており、現在の体制で計画期間中も確保できる見込みです。

番号	⑦	事業名	ファミリー・サポート・センター事業（就学児のみ）
計画書ページ	85	担当課	子育て支援課

1．計画内容

事業内容	乳幼児や小学生等の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を希望する者と、援助を行う者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業
提供体制の考え方	現在の提供体制で計画期間中も確保できる見込みです。事業の周知を行い、会員の増加を図ります。

2．進捗状況（計画・実績値）

単位：人

年間延べ利用者数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	2,500	2,530	30
B　確保の内容	3,795	4,189	394
B－A	1,295	1,659	

※就学児の利用分のみの量の見込みです。未就学児の利用分の量の見込みは「⑤一時預かり事業」の「その他の一時預かり」に含まれます。

3．事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	援助会員増員を図るため、年5回広報誌での会員募集を行いました。そのうち1回は相互援助活動の魅力を特集した記事を掲載し、ファミリー・サポート・センターの周知及び、会員の獲得に努めました。 依頼会員増員を図るため、4か月児健康診査においてファミリー・サポート・センターの周知及び登録の勧奨を行いました。 会員数…依頼会員　2,799人、援助会員　219人、両方会員　68人 計　3,086人
今後の展望	必要量を満たしており、現在の体制で計画期間中も確保できる見込みですが、多様化する保護者のニーズに対応するため、援助会員の確保により一層努めていきます。

番号	⑧	事業名	妊婦健康診査
計画書ページ	86	担当課	子育て支援課

1. 計画内容

事業内容	妊婦の健康保持・増進及び異常の早期発見・早期治療を図るとともに、経済的支援を行う事業
提供体制の考え方	愛知県内の医療機関において実施しており、現在の提供体制で計画期間中も確保できる見込みです。

2. 進捗状況（計画・実績値）

単位：人

妊婦健康診査 1回目の受診者数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	1,352	1,322	△ 30
B　確保の内容	1,352	1,322	△ 30
B－A	0	0	

3. 事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	母子健康手帳交付時に妊婦に受診券を交付し、医療機関において子宮頸がん検診1回と妊婦健診14回（多胎妊婦については19回）が受診できるようにし、妊婦の健康の保持と経済的な支援を実施しました。
今後の展望	必要量を満たしており、現在の体制で計画期間中も確保できる見込みですが、母子健康手帳交付時に受診券の使用方法を周知し、適切な時期に受診できるようにするとともに、医療機関や関係課と連携し、必要な支援が適切な時期に行えるよう努めます。

番号	⑨	事業名	乳児家庭全戸訪問事業（あかちゃん訪問事業）
計画書ページ	86	担当課	子育て支援課

1．計画内容

事業内容	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を対象に、助産師が訪問し、母子の健康状態を把握し、保護者の多様な相談に応じることで、安心して育児ができるよう支援する事業
提供体制の考え方	現在の提供体制で計画期間中も確保できる見込みです。

2．進捗状況（計画・実績値）

単位：人

訪問乳児数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	1,249	1,275	26
B　確保の内容	1,249	1,275	26
B－A	0	0	

3．事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	委託先助産師により、生後4か月までの乳児のいる家庭1,275件（利用率99.3%）に訪問し、健康状態の把握や様々な相談に応じることが出来ました。
今後の展望	必要量を満たしており、今後もすべての対象家庭に訪問できるを体制を確保し、安心して子育てができるよう支援していきます。

番号	⑩	事業名	養育支援訪問事業
計画書ページ	87	担当課	子育て支援課

1. 計画内容

事業内容	養育支援が特に必要と判断した家庭に対し、保健師や家庭児童相談員がその居宅を訪問し、養育に関する相談・指導、助言を行う事業
提供体制の考え方	保健師や家庭児童相談員が実施しており、現在の提供体制で計画期間中も確保できる見込みです。

2. 進捗状況（計画・実績値）

単位：人

保健師訪問世帯数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	508	466	△ 42
B　確保の内容	508	466	△ 42
B－A	0	0	

3. 事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	支援が必要な家庭466件に対し、保健師等が居宅を訪問し、養育等に関する相談を受けるとともに、必要な支援に繋げることが出来ました。
今後の展望	必要量を確保できており、今後も養育に支援が必要な家庭に対して訪問し、相談、助言を行い支援につなげます。

番号	⑪	事業名	子育てサービス利用者支援事業
計画書ページ	88	担当課	子育て推進課、子育て支援課、子ども課

1. 計画内容

事業内容	子育て支援センター等において情報提供や、必要な相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整を行う事業
提供体制の考え方	子育て支援センター（3か所）、子ども課窓口や妊娠・子育て応援室において、子育てコンシェルジュや保健師等が相談に対応しており、現在の提供体制で計画期間中も確保できる見込みです。

2. 進捗状況（計画・実績値）

単位：か所

■基本型

実施か所数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	3	3	0
B　確保の内容	3	3	0
B－A	0	0	

■地域子育て相談機関（基本型と重複）

実施か所数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	3	3	0
B　確保の内容	3	3	0
B－A	0	0	

■特定型（基本型と重複）

実施か所数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	1	1	0
B　確保の内容	1	1	0
B－A	0	0	

■こども家庭センター型（基本型と重複）

実施か所数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	1	1	0
B　確保の内容	1	1	0
B－A	0	0	

3. 事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	子育て支援センター（3か所）、子ども課窓口、妊娠・子育て応援室やこども家庭センターに専任子育てコンシェルジュ、兼任子育てコンシェルジュ及び保健師を配置し、情報提供や相談業務を行いました。 子育てコンシェルジュ研修及びネットワーク会議等を通じて関係機関との連絡調整を行いました。 コンシェルジュ会議：12回 コンシェルジュ研修：8回 ネットワーク会議：6回
今後の展望	引き続き、子育てコンシェルジュ研修を実施し、子育てコンシェルジュの資質向上及びネットワークの形成を図ります。

番号	⑫	事業名	実費徴収に係る補足給付事業
計画書ページ	89	担当課	子ども課

1. 計画内容

事業内容	新制度に移行していない私立幼稚園を利用している子どものうち、第3子など一定の要件を満たす場合に副食費の補助を実施する事業
提供体制の考え方	現在の体制で計画期間中も確保できる見込みです。

2. 進捗状況（計画・実績値）

単位：人

年間延べ利用者数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	35	16	△ 19
B　確保の内容	35	16	△ 19
B－A	0	0	

3. 事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	負担額算定基準子どもまたは小学校第3学年修了前子どもが同一世帯内に3人以上属している場合の第3子以降の副食費の補助を行い、また、市民税が非課税である世帯、市民税の所得割額が77,101円未満の世帯に対し、副食費の補助を行いました。
今後の展望	対象となる世帯に対し、引き続き副食費の補助を実施します。

番号	⑬	事業名	子育て世帯訪問支援事業
計画書ページ	89	担当課	子育て推進課、子育て支援課

1. 計画内容

事業内容	要支援児童の保護者等に対し、その居宅において、子育てに関する情報の提供並びに家事及び養育に係る援助その他の必要な支援を行う事業
提供体制の考え方	令和7年度からの事業実施であり、今後のニーズの増加を想定した提供体制の整備を行います。

2. 進捗状況（計画・実績値）

単位：人

年間延べ利用者数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b-a
A　量の見込み	103	167	64
B　確保の内容	103	167	64
B－A	0	0	

3. 事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	要支援児童を養育している3世帯に対してホームヘルパーの派遣を行い、延167日間の家事支援等の必要な援助を行いました。
今後の展望	令和8年度から家事支援に加えて育児支援を実施するにあたり、新たに民間事業者とも委託契約を締結しました。 今後も利用者のニーズを踏まえ、提供体制を整備してまいります。

番号	⑭	事業名	児童育成支援拠点事業
計画書ページ	90	担当課	子育て推進課

1. 計画内容

事業内容	養育環境等に関する課題を抱える児童について、当該児童に生活の場を与えるための場所を開設し、情報の提供、相談及び関係機関との連絡調整を行うとともに、必要に応じて当該児童の保護者に対し、情報の提供、相談及び助言その他の必要な支援を行う事業
提供体制の考え方	計画期間内の実施予定はありませんが、必要に応じて事業の実施を検討していきます。

2. 進捗状況（計画・実績値）

単位：人

利用者数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	0	0	0
B　確保の内容	0	0	0
B－A	0	0	

3. 事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	実績はありません。
今後の展望	計画期間内の実施予定はありませんが、必要に応じて事業の実施を検討していきます。

番号	⑮	事業名	親子関係形成支援事業
計画書ページ	90	担当課	子育て支援課

1. 計画内容

事業内容	親子間における適切な関係性の構築を目的として、児童及びその保護者に対し、当該児童の心身の発達の状況等に応じた情報の提供、相談及び助言その他の必要な支援を行う事業
提供体制の考え方	児童発達支援センター等で親子支援プログラムを実施します。

2. 進捗状況（計画・実績値）

単位：人

利用者数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b-a
A　量の見込み	65	42	△ 23
B　確保の内容	65	62	△ 3
B－A	0	20	

3. 事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	親子間における適切な関係性の構築を目的として、児童及びその保護者に対し、当該児童の心身の発達の状況等に応じた情報の提供、相談及び助言その他の必要な支援を行った。 親子支援プログラム（しげはら園）：7人 NP講座（NPOスコップ）：２５人 ペアレントトレーニング（社会福祉法人ひかりの家）：10人
今後の展望	必要なサービス量を満たしており、現在の体制で計画期間中も確保できる見込みですが、子育ての悩みや不安を抱えた保護者に対して、必要な支援が適切な時期に行えるよう関係各所との連携やプログラム内容の充実を図ります。

番号	⑯	事業名	妊婦等包括相談支援事業
計画書ページ	91	担当課	子育て支援課

1. 計画内容

事業内容	妊婦等の心身の状況、その置かれている環境等の把握を行うほか、母子保健や子育てに関する情報の提供、相談その他の援助を行う事業
提供体制の考え方	こども家庭センターの設置及び乳児家庭全戸訪問事業において実施します。

2. 進捗状況（計画・実績値）

単位：人

年間延べ利用回数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	3,925	3,695	△ 230
B　確保の内容	3,925	3,695	△ 230
こども家庭センター	2,676	2,420	△ 256
乳児家庭全戸訪問事業	1,249	1,275	26
B－A	0	0	

3. 事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	母子健康手帳交付、妊娠8カ月アンケート、乳児家庭全戸訪問時に継続して妊婦等の心身の状況や家庭環境を把握し、必要な情報提供をするとともに、必要なサービスに繋げるなど切れ目のない支援を行いました。 母子健康手帳交付　1,348人 8カ月アンケート　1,072人 乳児家庭全戸訪問　1,275人
今後の展望	必要量は確保できており、今後も、妊婦等の様々な相談に対応し、必要な情報提供や支援に繋げるように取組みます。

番号	⑰	事業名	乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）
計画書ページ	92	担当課	子ども課

1．計画内容

事業内容	生後6か月から満3歳未満の未就園児を対象に、保護者の理由に関わらず、保育所等を一定時間まで柔軟に利用できる通園制度で、集団生活の機会を通じてこどもの成長を応援し、保護者の子育てに関する相談支援などを行う事業
提供体制の考え方	令和8年度の事業実施に向け、保育園における一時保育の提供体制を計画期間中も確保しながら、一時保育実施園の一部を乳児等通園支援事業に移行するとともに、当該事業を実施する民間園の新規誘致を図ることで提供体制を確保します。 また、乳児等通園支援事業者及び地域の教育・保育施設と連携し、両者間での情報を共有することができる体制を整えます。

2．進捗状況（計画・実績値）

■0歳

単位：人

利用者数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	−	−	−
B　確保の内容	−	−	−
B－A	−	−	

■1歳

単位：人

利用者数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	−	−	−
B　確保の内容	−	−	−
B－A	−	−	

■2歳

単位：人

利用者数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	−	−	−
B　確保の内容	−	−	−
B－A	−	−	

3. 事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	－
今後の展望	公立園2園で実施し、子育て家庭を支援していきます。

番号	⑱	事業名	産後ケア事業
計画書ページ	93	担当課	子育て支援課

1. 計画内容

事業内容	退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を行う事業
提供体制の考え方	宿泊型、日帰り型、訪問型のケアを利用者のニーズに応じて提供しており、現在の提供体制で計画期間中も確保できる見込みです。

2. 進捗状況（計画・実績値）

単位：人

年間延べ利用者数	令和7年度計画a	令和7年度実績b	実績と計画の差b−a
A　量の見込み	589	1,034	445
B　確保の内容	589	1,034	445
B－A	0	0	

3. 事業実績及び今後の展望

年度	令和7年度
事業実績	母子健康手帳交付時の事業周知や無料体験を通して、リピーターを含めた利用希望者が増えたことから、宿泊型延べ278日、日帰り型延べ97日、訪問型は延べ891日、と計画の見込を大幅に超える利用がありました。すべての利用希望者に対して、助産師等により心身のケアや育児の相談を実施しました。
今後の展望	今後も量の見込は、令和7年度実績と同程度の量で推移すると見込んでいますが、提供する体制は確保できています。さらに安心して子育てができるよう、今後は里帰り先などでも利用可能な体制づくりに努めます。